



伊達邦直公写真

— 有備館からの出発 —

明治150年の軌跡 伊達邦直と家臣団、 ふたつの道の選択

平成30年

9月19日^水～11月11日^日

会 場：旧有備館および庭園

開館時間：午前9時～午後5時（最終入館 午後4時30分）

休 館 日：月曜（祝日の場合は翌日）

入 館 料：一般 300円 高校生 200円

小・中学生 150円

基調講演

10月27日^土

会場：スコレハウス2階 研修室

背景：明治2年末使省藩士族寺院管轄図
（北海道立文書館所蔵「北海道史 附録地図」より）
版画：「開拓者」小野寺 栄氏 制作



明治150年の軌跡

伊達邦直と家臣団、ふたつの道の選択

—有備館からの出発—

今から150年前、岩出山伊達家主従の明治の幕開けは有備館において始まりました。

明治2年、旧下屋敷有備館は伊達家の住まいとなり、家中の拠り所となっていました。有備館において10代当主邦直は北海道開拓の決意を家臣に伝えましたが、家中の論は二分し、道はふたつに分かれることとなりました。一方は有備館を出発点として

旅立ち、一方は有備館を守り抜こうと決意しました。行く手にはそれぞれに苦難が待ち受けていましたが、それを乗り越えて来た「今」には、姉妹都市北海道石狩郡当別町と大崎市岩出山とがあります。

明治150年の今年、その選択を振り返り、改めて当別町との歴史の関わりを考えてみましょう。

大崎市岩出山と北海道当別町は、ひとつの源流からそれぞれの選択によって別れたふたつの流れとして、切り離すことのできない歴史を刻んできました。

戊辰の敗戦と仙台藩

戊辰戦争時、岩出山伊達隊は白河口の警固から一転して秋田戦争に従軍し、奮戦の末に多数の死傷者を出すに至りました。9月15日に仙台藩は降伏し、まもなく戊辰戦争は終結しました。



戊辰戦争羽州出兵戦死之碑

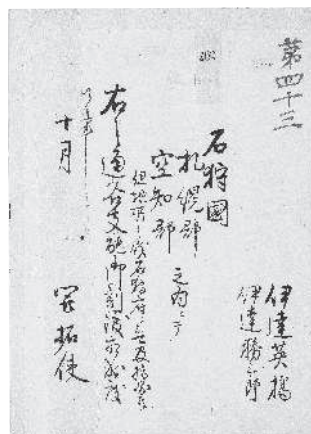


尿前 御出陣二付
御人数調帳

武士の処分と開拓志願書の提出

仙台藩領は大幅に削減され、それまでの62万石から28万石になりました。

岩出山伊達家の家臣団は解体、全員無禄と通達され、当主邦直は家臣を救済する道を北海道開拓に求めようと決意しました。



札幌郡・空知郡之内ニテ割渡しのこと

帰農と開拓移住、ふたつの道へ

主君と別れても伊達政宗以来の地岩出山を守ろうとする人々、新天地北海道で主従ともに新たな生活と家臣団の再建を果たそうと考える人々。ふたつの道の選択は苦渋の選択でした。



邦直主従の開拓移住に題材を取った小説「石狩川」

本国岩出山と当別

岩出山と当別と、道がふたつに分かれても縁が途絶えることはありませんでした。特に旧主邦直は岩出山と有備館を終生忘れることはなく、旧臣たちの願いを聞き届けて、有備館に血筋を残し「岩出山伊達家」を創設しました。



伝 伊達邦直画「有備館絵図」

基調講演 平成30年 10月27日(土) 午前10時～

「岩出山残留か北海道移住か

—旧岩出山伊達家中の選択—

講師 元東北大学東北アジア研究センター助教 友田 昌宏氏

定員：100名

会場：スコーレハウス2階 研修室

料金：無料

関
連
事
業

みどころ紹介! ミニ講座

平成30年 9月28日(金)・10月13日(土)
①午前11時～ ②午後2時～ (各回1時間程度)

企画展の見所や展示資料についての解説を行います。

定員：20名程度(文化財課へ要事前申込)

集合場所：岩出山地区公民館(有備館向い)

料金：入館料のみ必要